第 5.0 版(2025 年 02 月 02 日作成)

承認番号　20221129

オプトアウト文書

研究課題名　「医学生はどのように教養科目における学習を捉え、どのような影響を受けているのか？」

研究グループ名 慶應義塾大学医学部医学教育統轄センター

研究責任者　春田淳志
研究機関名　慶應義塾大学医学部
（所属）　医学教育統轄センター

医学教育統轄センターではより効果的な医学教育カリキュラムについて検討しています。この度、慶應義塾大学医学部の学生が1年次に人文・社会科学科目の学習に対してどのような意欲や姿勢で臨み、そしてその学習経験が、その後の基礎・臨床医学の学習を経るとどのような影響をもって現れるのかを明らかにすることで、医学生が持っている医学以外の学びに対する関心や価値観を可視化したいと考え、本研究を行うことと致しました。

本研究は学生の皆さんのプログラム評価アンケートおよび、それに回答してくださった方のうち数名へのインタビュー結果を用いて実施します。研究協力に同意できない場合も、成績に影響することはありません。尚、本研究の実施について、医学部倫理委員会の承認および病院長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。

1 対象となる方
2022年9月5日時点において第3学年および第6学年に在籍中の慶應義塾大学医学部の学生

2 研究課題名
承認番号　20221129
研究課題名 「医学生はどのように教養科目における学習を捉え、どのような影響を受けているのか？」

3 研究実施機関
慶應義塾大学医学部医学教育統轄センター

4 本研究の意義、目的、方法

1) 本研究の意義

低学年時における教養科目の学習の影響が、基礎・臨床医学を学習した後では医学生の医学・その他の学習やキャリア・人生観についてどのように現れてくるのかということを調べ、医学生が持っている医学以外の学びに対する関心や価値観を可視化することで、今後のよりよいカリキュラム開発・評価に活用できると期待されます。

2) 目的

慶應義塾大学医学部の学生が1年次に人文・社会科学科目の学習に対してどのような意欲や姿勢で臨み、そしてその学習経験が、その後の基礎・臨床医学の学習を経るとどのような影響をもって現れるのかを明らかにすることです。

3) 方法

学生を対象としたプログラム評価アンケートの結果と、それに回答してくださった方のうち数名へのインタビュー結果を質的研究法にて分析することで行います。

5 データの項目

皆さまから得られたプログラム評価アンケート、新たに依頼するインタビューデータ

6 本研究の実施期間

研究実施許可日～2026 年 3 月 31 日

7 プライバシーの保護について

皆さまから得られたプログラム評価アンケートおよび新たに依頼するインタビューデータについては、名前を削除した後に分析をするため、個人が特定されることはありませんが、得られた情報は厳重に管理します。また、研究終了後、上記のデータを破棄する際は、紙媒体のものは裁断して廃棄、電子媒体のものは完全に消去いたします。本研究の結果は、学術集会や学会誌への投稿を予定していますが、その際にも個人が特定されることはありません。

本研究を実施するための研究資金は受けておらず、開示すべき利益相反はありません。

８．同意について

本研究に同意できない場合は、下記へご連絡ください。同意できない場合も、授業に参加できない等の不利益を被ることはありません。データの分析開始後は、すでに名前を削除した状態のデータを扱うため、撤回するのが困難となりますことをご了承ください。

９．研究についての情報共有

本研究については、慶應義塾大学医学部医学教育統轄センターホームページをご覧ください。
https://www.med.keio.ac.jp/education/medical-education-center/index.html

10. お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より情報の利用の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

慶應義塾大学医学部 医学教育統轄センター
住所:東京都新宿区信濃町 35
電話:03-5363-3514
研究責任者・担当者:春田淳志